

# 平成 29 年度 島根県学力調査結果の概況について〈江津市〉

## 1. 小学校

### 【各教科調査結果】

国語	<ul style="list-style-type: none"><li>漢字の読み書きについては概ね定着が見られる。</li><li>目的に応じて文章の要点を比べて読むことに課題が見られる。</li><li>目的に応じて引用したり図を用いたりして、自分の考えが伝わるように書くことに課題がある。</li></ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"><li>資料を読み取り、説明することに課題が見られる。</li><li>記述を求める問題への無解答率が高くなる傾向がある。</li></ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"><li>小数、分数の計算に課題が見られる。</li><li>「図形」と「数量関係」に関する領域について課題が見られる。</li></ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"><li>「温度計の読み取り方」「顕微鏡の正しい使い方」が十分身につけていない。</li><li>実験の意味、方法、結果について、条件と関連付けて説明することに課題がある。</li><li>「地球」「エネルギー」「生命」「地球」のすべての領域の内容の定着について課題がある。</li></ul>

### 【意識調査結果】

強み	<ul style="list-style-type: none"><li>読書を好きだと考え、学校図書館などの本を使って学習する授業も好きだと感じている。</li><li>地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。</li><li>授業では、自分の考えを発表する機会を与えられている。(昨年度より改善)</li><li>授業では、学級やグループの中で、自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動がよく行われている。(昨年度より改善)</li><li>授業の中で、めあてが示されている。</li><li>理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないかと考えている。</li></ul>
弱み	<ul style="list-style-type: none"><li>普段（月曜日から金曜日）、1日あたり3時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたり、テレビゲームをしたりする高学年児童が3割を超える。</li></ul>

## 2. 中学校

### 【各教科調査結果】

国語	<ul style="list-style-type: none"><li>漢字の読み書きについては概ね定着している。</li><li>「品詞の識別」「接続語の働き」の理解について課題が見られる。</li><li>文章の構成を考えて、効果的に伝わるように工夫して書くことに課題がある。</li><li>記述式の問題への正答率が低い傾向にある。</li></ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"><li>複数の資料から読み取り、社会的事象と比較・関連付けて考察することに課題が見られる。</li><li>記述を求める問題への無解答率が高くなる傾向がある。</li></ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"><li>具体的な場面において、数量の関係を方程式や不等式に表し、解決することに課題がある。</li><li>根拠を基に数学的に説明することに課題がある。</li><li>無解答率が高い。</li></ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"><li>「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」「地学的領域」のすべての領域の内容の定着について課題がある。</li><li>事物・現象についての原理を理解し、正しく説明することに課題がある。</li><li>無解答率が高い。</li></ul>

英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙の知識・理解については概ね定着している。</li> <li>・英文を聞いたり読んだりした内容をもとに、思考し判断したうえで英文を書くことに課題が見られる。</li> </ul>
----	--

### 【意識調査結果】

強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が休みの日に、1日あたり3時間以上勉強をする生徒の割合が県平均をやや上回る。(学習塾で勉強をしている時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む。)</li> </ul>
弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思う生徒が少ない。</li> <li>・授業では、学級やグループの中で、自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいると考える生徒の割合が低い。(特に中2の意識が大きく低下)</li> <li>・授業の中で、めあて(ねらい)が示されていない。</li> <li>・「総合的な学習の時間」に自分で課題を立てて情報を集めたり、整理し考え発表したりする学習が十分に取り入れられていない。</li> <li>・数学・英語の授業の内容がよくわかると考える生徒の割合が低い。</li> <li>・数学・理科の授業で学習したことを普段の生活のなかで活用できないか考える生徒の割合が低い。</li> <li>・数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていると考える生徒の割合が低い。</li> <li>・英語の授業では、自分の気持ちや考えを英語で伝え合う活動をよくしていると考える生徒の割合が低い。</li> </ul>

## 3. 改善策について

### ◇課題の把握

各校において単元や領域の弱みについて把握し、補充学習の実施等組織的な対策を立てて児童生徒への学習内容の定着を図る。また、次年度の担任及び教科担当者へ対策を引き継ぎ、継続する。

### ◇指導の改善

「江津市学力育成サイクルプラン」に基づいて、「生活・学習に関する意識調査」の結果を用い「授業改善アクションプラン」の検証を行い、指導方法等に対する組織的改善を図る。

### ◇学校訪問の実施

指導主事による県学力調査結果をふまえた指導改善に関わる学校訪問を市内全校において実施し、組織的授業改善や個別指導の充実に向けて働きかける。

参照：「平成29年度県学力調査結果概要」島根県教育委員会